別記様式(第4条，第9条関係)

令和　　　年度　　　自主点検表

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 広島大学自然科学研究支援開発センター総合実験支援・研究部門アイソトープ総合部 |
| 点検日 | 令和　　年　　月　　日 |
| 点検者 | 　 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | センター長 | 放射線取扱主任者 | 管理担当者 |
| 　 | 　 | 　 |

1　放射線施設の点検項目

|  |
| --- |
| 共通事項 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置等 | 1　使用施設等は，地崩れ及び浸水のおそれがないか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　事業所内の居住区域に変更はないか。 | 1 |
| 主要構造部等 | 1　主要構造部等が耐火構造又は不燃材料造りとなっているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　改修又は補修工事が行われた場合，主要構造部等は耐火構造又は不燃材料造りとなっているか。 | 1 |
| 遮へい | 1　遮へいの構造，材料，寸法が承認内容(申請書及び添付書類)に合致しているか。) | 1 | 　 | 　 |
| 2　遮へい物に破損，き裂などの損傷はないか。 | 2 |
| 3　常時人が立ち入る場所の実効線量は1mSv／週を超えていないか。 | 12 |
| 4　事業所境界，事業所内居住区に対する実効線量が250μSv／3月を超えていないか。 | 12 |
| 管理区域 |
| 区画等 | 1　管理区域の区画が承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 線量等 | 1　管理区域境界の線量が1.3mSv／3月を超えてはいないか。 | 12 | 　 | 　 |
| 2　管理区域内の常時立ち入る場所における放射性同位元素の空気中濃度は，濃度限度を超えてはいないか。 | 12 |
| 3　人が触れる物の表面の放射性同位元素の表面密度は，密度限度を超えてはいないか。 | 12 |
| 標識等 | 1　管理区域の種類ごとに定められた標識が付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　標識の設置位置，枚数は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 2 |
| 3　管理区域等における注意事項は，目の付きやすい場所に掲示されているか。 | 2 |
| 4　標識等の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |

2　密封されていない放射性同位元素を使用する施設の点検項目

|  |
| --- |
| 作業室 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 構造 | 1　汚染のおそれのある床，壁等は，突起物，くぼみが少ないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　汚染のおそれのある床等の仕上材の目地等のすきまは少ないか。 | 2 |
| 3　汚染のおそれのある床，壁等に著しいき裂はないか。 | 2 |
| 表面材料 | 1　汚染のおそれのある床，壁等の表面は，平滑な材料が使用されているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　汚染のおそれのある床，壁等の表面は，腐食しにくい材料か。 | 1 |
| 3　気体又は液体が浸透しにくい材料か。 | 1 |
| 4　塗装された床面に剥離や著しい磨滅はないか。 | 2 |
| フードグローブボックス | 1　フードは排気設備に確実に接続されているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　フード本体及び排気管等の溶接部，接合部にき裂や腐食がないか。 | 2 |
| 3　フードの扉の開口部で適切な風量が得られているか。 | 4 |
| 4　フード下の配管，トラップ等の接合部から漏水はないか。 | 2 |
| 5　フード内は，汚染拡大防止措置が講じられているか。 | 12 |
| 6　グローブボックス及び排気管等の接合部にき裂や腐食がないか。 | 2 |
| 7　グローブボックスは，確実に排気設備に接続されているか。 | 2 |
| 8　グローブボックス内は，負圧が得られているか。 | 4 |
| 9　グローブ及びOリングに破損，老朽はないか。 | 2 |
| 流し | 1　流し等に，き裂，破損又は汚損等はないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　流し等の排水管，トラップ及び接続部等から漏水又はその痕跡はないか。 | 2 |
| 換気 | 1　作業室内の空気は排気口やフードから良好な状態で排出されているか。 | 4 | 　 | 　 |
| 2　作業室の空気は廊下や汚染検査室へ逆流しないか。 | 2 |
| 3　作業室では作業台周辺の換気は十分に行われているか。 | 4 |
| 標識 | 1　作業室ごとに「放射性同位元素使用室」の標識が付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　標識は，作業室の出入口又はその付近に付けられているか。 | 2 |
| 3　標識等の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 汚染検査室 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置等 | 1　汚染検査室は，承認内容(申請書の添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　汚染検査室の区画は明確にされているか。 | 1 |
| 構造 | 1　汚染のおそれのある床，壁等は，くぼみが少ないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　汚染のおそれのある床，壁等は，突起物，が少ないか。 | 2 |
| 3　汚染のおそれのある床等の仕上材に目地等のすきまは少ないか。 | 2 |
| 4　汚染のおそれのある床，壁等にき裂はないか。 | 2 |
| 表面材料 | 1　汚染のおそれのある床，壁等の表面は平滑な材料が使用されているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　汚染のおそれのある床，壁等の表面は，腐食しにくい材料か。 | 1 |
| 3　汚染のおそれのある床，壁等は気体又は液体が浸透しにくい材料か。 | 1 |
| 4　塗装された床面に剥離や著しい磨滅はないか。 | 2 |
| 洗浄設備 | 1　流し，シャワー等は，確実に排水設備に接続されているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　流し，シャワー等に破損や故障はないか。 | 2 |
| 3　流し及び手洗器等の配水管，トラップ及び接続部等から漏水又はその痕跡はないか。 | 2 |
| 更衣設備 | 1　実験衣，スリッパ等は，整備されているか。 | 12 | 　 | 　 |
| 2　実験衣等は，適時交換し，又は洗濯がされているか。 | 12 |
| 3　履物入れや衣服掛け等が整備されているか。 | 12 |
| 器材 | 1　手洗用石鹸，紙タオル等は常備されているか。 | 12 | 　 | 　 |
| 2　ブラシ，ウエス及び洗剤等の除染器材は整備されているか。 | 12 |
| 測定器 | 1　承認を得た申請書に記載された種類と台数の測定器が備えられているか。 | 12 | 　 | 　 |
| 2　測定器は定期的に点検整備されているか。 | 2 |
| 標識 | 1　「汚染検査室」の標識が付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　設置位置は，承認内容(申請書及び添付図面)と合致しており，見やすい場所であるか。 | 2 |
| 3　標識等の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 貯蔵室，貯蔵箱，貯蔵容器 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置等 | 1　設置位置は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　主要構造部等は，耐火性構造になっているか。 | 1 |
| 貯蔵室 | 1　出入口等の開口部には，甲種防火戸が設けられているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　出入口等の開口部の扉は，確実に閉鎖でき，施錠できるか。 | 2 |
| 3　貯蔵室の区画を貫通する給排気管に防火ダンパーは設置されているか。 | 1 |
| 4　壁面に遮へい機能に影響を及ぼすようなき裂やすきま等はないか。 | 2 |
| 貯蔵箱 | 1　設置個数や設置位置は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　貯蔵箱は，耐火性の構造か。 | 1 |
| 貯蔵容器 | 1　貯蔵室又は貯蔵箱の放射性同位元素は，容器に入れて保管しているか。 | 12 | 　 | 　 |
| 2　空気を汚染するおそれのある放射性同位元素を入れる容器は気密な構造か。 | 2 |
| 3　液体の放射性同位元素を保管する容器は，液体がこぼれにくい構造で浸透しにくい材質か。 | 2 |
| 4　固体状又は液体状放射性同位元素を保管する容器で，き裂，破損等の発生のおそれがある場合は，汚染拡大防止のために受皿，吸収材等が設けられているか。 | 12 |
| 貯蔵能力 | 1　承認された種類・数量を超えて保管していないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　貯蔵施設以外の場所で保管していないか。 | 2 |
| 標識 | 1　貯蔵室の出入口又はその付近に「貯蔵室」の標識が付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　貯蔵箱の表面に「貯蔵箱」の標識が付けられているか。 | 2 |
| 3　標識の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 排気設備 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置 | 1　設置位置は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 排気浄化装置 | 1　排気浄化装置の種類，台数及び性能が承認内容(申請書の記載内容)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　フィルタチェンバに腐食や破損等がなく，排気が漏洩していないか。 | 1 |
| 3　フィルタの装着枚数は，承認内容(申請書の記載内容)に合致しているか。 | 1 |
| 4　フィルタの圧力損失の測定値は良好か。 | 4 |
| 5　マノメータ等の計器は正常に作動しているか。 | 4 |
| 6　フィルタは適宜交換されているか。 | 2 |
| 排風機 | 1　排風機の種類と台数及びモータの定格馬力は，承認内容(申請書の記載内容)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　排風機及びモータに異常音や振動及び加熱がないか。 | 4 |
| 3　ベルト等に損傷や規定以上の緩みはないか。 | 4 |
| 排気管 | 1　作業室，フード等，排気浄化装置，排風機及び排気口間の排気管は確実に連結されているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　排気管に腐食やき裂又は破損等はないか。 | 2 |
| 排気口 | 1　排気口に腐食，き裂又は破損等がないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　排気ガラリ付近に排気を阻害する障害物等はないか。 | 2 |
| 3　排気モニタの測定性能が維持され，排気循環系統が正常に機能しているか。 | 2 |
| 標識 | 1　排気浄化装置には「排気設備」の標識が装置表面に付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　排気管には，「放射能表示」の標識及び流れの方向を示す「矢印」が付けられているか。 | 2 |
| 3　標識の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 排水設備 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置等 | 1　設置位置は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 排水処理装置 | 1　排水処理装置の材料，構造，台数等は，承認内容(申請書の記載内容)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　排水処理装置に，腐食，き裂等はないか。 | 2 |
| 3　排水処理装置及び接続配管等からの漏水はないか。 | 2 |
| 4　廃液を採取する装置は，正常に機能しているか。 | 2 |
| 5　排水モニタが正常に機能しているか。 | 2 |
| 6　排水処理装置は，正常に作動するか。 | 2 |
| 7　排水設備のさく等に破損等はないか。 | 2 |
| 配水管 | 1　配水管にき裂や破損又は取付け部に緩み等はないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　溶接部，フランジ部からの漏水はないか。 | 2 |
| 標識 | 1　貯留槽や処理済水槽の表面又はその付近に「排水設備」の標識が付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　配水管には，「放射能表示」の標識及び流れの方向を示す「矢印」が付けられているか。 | 2 |
| 3　標識の脱落，汚損又は破損や色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 保管廃棄設備 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 位置等 | 1　位置，構造及び材料は，承認内容(申請書及び添付図面)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
| 2　外部及び作業室等との間が，壁，扉及び間仕切り等で区画されているか。 | 1 |
| 3　出入口等の開口部の扉は，確実に閉鎖でき，施錠できるか。 | 1 |
| 保管廃棄容器 | 1　保管廃棄容器に腐食，き裂及び有害な損傷はないか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　液体状の廃棄物を収納する容器は，こぼれにくい構造で浸透しにくい材料が用いられているか。 | 2 |
| 3　放射性廃棄物は，保管廃棄容器に封入されているか。 | 2 |
| 標識 | 1　保管廃棄設備には，「保管廃棄設備」の標識が設備の外部に通ずる部分又はその付近に付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　放射性廃棄物を収納した保管廃棄容器には，「放射性廃棄物」の標識が容器表面に付けられているか。 | 2 |
| 3　標識の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |
| 有機廃液焼却炉 |
| 区分 | 点検項目 | 頻度回／年度 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 構造等 | 1　焼却炉の構造，材質，焼却能力及び設置位置等が，承認内容(申請書の記載内容)に合致しているか。 | 1 | 　 | 　 |
|  | (焼却炉の構造，性能等は科学技術庁が策定した「液体シンチレーター廃液の焼却に関する安全管理について(平成11年)」によって許可されている。) |  |  |  |
| 焼却炉 | 1　焼却炉の燃焼性は，確保されているか。 | 4 | 　 | 　 |
| 2　空気混合器，排ガス冷却器，洗浄塔等に所定の機能を低下させるような不具合，変形及び損傷等はないか。 | 2 |
| 3　焼却炉本体，排気管等にき裂や有害な損傷はないか。 | 2 |
| 4　焼却炉から発生する排気等は，排気設備で処理しているか。 | 2 |
| 標識 | 1　焼却炉が設置されている室には，「廃棄作業室」の標識が出入口又はその付近に付けられているか。 | 2 | 　 | 　 |
| 2　標識の脱落，汚損又は色褪せ等はないか。 | 2 |
| 講じた措置内容 |

3　使用等に関する点検・留意事項

|  |
| --- |
| 共通事項 |
| 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| (1)　承認・届出1　使用する放射性同位元素の種類，数量等は，承認のとおりか。2　保管している放射性同位元素の種類，数量は貯蔵能力以内か。3　承認を受けた場所で使用，保管，廃棄をしているか。4　承認を受けた使用目的，方法で使用しているか。5　承認を受けた方法で廃棄しているか。6　その他承認内容と異なった行為はないか。 | 　 | 　 |
| (2)　教育訓練・健康診断1　指定された者以外の者が管理区域に立ち入っていないか。2　放射線業務従事者に対し，教育及び訓練，健康診断を行っているか。 | 　 | 　 |
| (3)　被ばく管理1　放射線測定器を装着しているか。また，放射線測定器の種類，装着部位は適切か。2　内部被ばく測定の可否判定に係る対応は適切か。3　線量を低減するための措置を講じているか。 | 　 | 　 |
| (4)　記帳，記録1　使用に係る，記帳，記録が確実に実施されているか。2　記帳の取扱い(1年ごとの閉鎖を含む)は適切に行われているか。3　帳簿の保管，管理状況は適切か。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |
| 非密封放射性同位元素の使用等 |
| 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| (1)　使用1　排気設備は運転されているか。2　作業室においては，作業衣，保護具等を着用しているか。3　退出時，人体及び作業衣，履物，保護具等人体に着用している物の表面の汚染を検査しているか。4　放射性同位元素や汚染された物で基準を超えているものは，みだりに作業室の外あるいは管理区域外へ持ち出していないか。 | 　 | 　 |
| (2)　保管1　放射性同位元素は，容器に入れ，かつ，貯蔵室又は貯蔵箱に保管されているか。2　容器の材料は適切か。 | 　 | 　 |
| (3)　廃棄 |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 排気設備 | 1　排気設備は正常に運転されているか。2　排気監視装置の作動状況に異常はないか。 | 　 | 　 |
| 排水設備 | 1　排水設備は適切に管理されているか。2　排水監視装置の作動状況に異常はないか。 | 　 | 　 |
| 焼却炉 | 1　焼却炉は正常に運転されているか。2　有機廃液の焼却について，指針の条件を守っているか。 | 　 | 　 |
| 保管廃棄設備 | 1　保管廃棄設備は適切に管理されているか。2　管理責任者により，保管の状況が管理されているか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |
| 密封放射性同位元素の使用等 |
| 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| (1)　使用1　密封線源の健全性はチェックされているか。2　密封線源を移動させて使用した場合に，使用後直ちに放射性同位元素の紛失，漏洩等異常の有無を放射線測定器により確認しているか。 | 　 | 　 |
| (2)　保管1　承認された種類，数量を超えて保管していないか。2　密封線源は，容器に入れ，貯蔵施設に保管されているか。3　容器の材料は適切か。4　保管中に放射性同位元素を，みだりに持ち運べないように，施錠等の措置がされているか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |
| 放射性同位元素の運搬 |
| (1)　事業所内運搬 |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 取扱施設内運搬 | 1　バイアル(ビン)等を運搬するときは，汚染拡大防止のためにバット等に紙等を敷いてあるか。2　転倒，落下，破損，紛失のないように注意を施しているか。3　線量の大きい放射性同位元素の場合は，遮へい容器に入れているか。 | 　 | 　 |
| 事業所内運搬 | 1　基準に適合した容器を使用しているか。1)容器に外接する直方体の各辺が10cm以上あるか。2)容易に，かつ，安全に取扱うことができるか。3)運搬中に予想される温度及び内圧の変化，振動等により，き裂，破損等の生ずるおそれがないか。2　運搬物の表面汚染は，表面密度限度の1／10以下か。3　運搬物表面での1cm線量当量率の最大値は，2mSv／h以下か。4　運搬物表面から1m離れた位置での1cm線量当量率の最大値は100μSv／h以下か。5　運搬車両表面での1cm線量当量率の最大値は，2mμSv／h以下か。6　運搬車両表面から1m離れた位置での1cm線量当量率の最大値は100μSv／h以下か。7　運搬中の移動，転倒，転落等で輸送物の安全性が損なわれないか。8　運搬物は危険物と混載されていないか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |
| (2)　事業所外運搬 |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 放射性輸送物 | 1　輸送物の区分は次のいずれかに該当しているか。(L型，A型，BM型)2　基準に適合した容器を使用しているか。3　輸送物の外観に異常はないか。4　輸送物の表面での1cm線量当量率の最大値は基準値以下か。・L型輸送物：≦5μSv／h・A型輸送物：≦2mμSv／h・B型輸送物：≦2mμSv／h5　輸送物表面の非固定性汚染は基準値以下か。・L型輸送物：α≦0.04Bq／cm2・その他≦0.4Bq／cm2・A型輸送物：α≦0.4Bq／cm2・その他≦4Bq／cm2・B型輸送物：α≦0.4Bq／cm2・その他≦4Bq／cm26　輸送物の開封時，見やすい位置に「放射性」の表示があるか。《L型輸送物のみ》以下《A型輸送物・B型輸送物に適用》7　輸送物表面から1m離れた位置での1cm線量当量率の最大値は基準値以下か。・A型輸送物：≦100μSv／h・B型輸送物：≦100μSv／h8　輸送物の標識，表示は正しく付されているか。 | 　 | 　 |
|  | 9　封印の措置は適切か。10　必要書類以外のものは収納されていないか。 |  |  |
| 運搬方法 | 1　輸送物の車両への積付けは，運搬中の移動，転倒，転落等で輸送物の安全性が損なわれないように適切に行われているか。2　他の危険物と混載してはいないか。　 以下《A型輸送物・B型輸送物に適用》3　車両の標識は正しく付されているか。4　1台の車両等に積載した輸送物の輸送指数の合計は，50以下か。5　輸送物運搬車両の表面での1cm線量当量率の最大値は，2mSv／h以下か。6　輸送物運搬車両の表面から1m離れた位置での1cm線量当量率の最大値は，100μSv／h以下か。7　運転席等運搬に従事する者の通常乗車する場所の1cm線量当量率の最大値は，20μSv／h以下か。8　運搬従事者に携行書類を持たせたか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |

4　場所の測定に関する点検・留意事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 測定 | 共通 | 1　測定は放射線測定器を使って行っているか。2　線量当量率の測定は，1cm線量当量率について測定しているか。3　測定箇所は適切か。4　測定結果に異常はないか。 | 　 | 　 |
| 非密封放射性同位元素使用施設 | 1　測定は作業環境中の線量率，表面密度，空気中放射能濃度及び排気中放射能濃度，排水中放射能濃度について行っているか。2　線量率及び表面密度の測定頻度は適切か。3　排水中及び排気中の放射能濃度の測定は，排水及び排気の都度，行っているか。4　測定結果は，線量限度，表面密度限度又は濃度限度を超えていないか。 | 　 | 　 |
| 密封放射性同位元素使用施設 | 1　測定は，作業環境中の線量率について行っているか。2　線量率の測定箇所は適切か。3　測定結果は，線量限度を超えていないか。 | 　 | 　 |
| 記録 | 　 | 1　測定の結果は法定項目とともに記録しているか。2　測定点を示す図面を添付しているか。3　記録は管理責任者，放射線取扱主任者の確認を受けているか。4　記録は5年間保存しているか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |

5　人の被ばくに係る線量の測定に関する点検・留意事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 人に係る線量の測定 | 共通 | 1　測定の頻度，期間又は時期は適切か。2　線量限度を超えた被ばくはなかったか。3　線量限度を超えて被ばくした者に，臨時健康診断を受けさせたか。 | 　 | 　 |
| 外部被ばく | 1　放射線業務従事者等に対する測定は，適切に実施しているか。2　放射線測定器を使用しているか。3　放射線測定器の装着部位は，男女とも適切か。4　1cm及び70μm線量について測定しているか。5　指等の被ばくについては，70μm線量当量の測定を行っているか。 | 　 | 　 |
| 内部被ばく | 1　放射線業務従事者等に対する測定評価は適切に行っているか。 | 　 | 　 |
| 記録 | 　 | 1　測定の結果は，法定項目とともに記録されているか。2　測定結果は四半期毎(女子は1月毎)に集計し，記録されているか。3　測定結果の記録の写しは本人に交付しているか。4　実効線量や等価線量は四半期(本人の申出等によりセンター長等が妊娠の事実を知ることになった女子は1月毎)毎に算定し，記録しているか。 | 　 | 　 |
|  |  | 5　実効線量等の算定記録の写しは本人に交付しているか。6　20mSvを超えた場合は累積実効線量を記録しているか。7　記録は永久保存しているか。 |  |  |
| 講じた措置内容 |

6　健康診断に関する点検・留意事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 健康診断 | 1　放射線業務従事者に対する健康診断は実施しているか。2　健康診断の方法は適切か。3　検査又は検診は，法定項目について実施しているか。4　健康診断の実施の時期は適切か。5　線量限度を超えて被ばくし，又はそのおそれのある者がいたとき，臨時健康診断を受けさせたか。 | 　 | 　 |
| 記録 | 1　健康診断の結果は法定項目とともに記録されているか。2　健康診断の記録の写しは本人に交付しているか。3　記録は永久保存されているか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |

7　教育訓練に関する点検・留意事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 点検・留意事項 | 適否 | 問題点，講じた措置 |
| 教育訓練 | 1　放射線業務従事者に対する教育及び訓練は実施されているか。2　実施の時期は適切か。3　法定項目について実施しているか。4　法定時間数以上，教育及び訓練を実施しているか。 | 　 | 　 |
| 記録 | 1　教育及び訓練の実施結果は記録されているか。2　教育及び訓練の実施年月日及び時間数が記録されているか。3　受講者の氏名や所属は明記されているか。4　教育及び訓練の実施場所は明記されているか。5　省略する者については，理由を記録してあるか。6　記録の閉鎖は1年ごとに行われているか。7　帳簿は5年間以上保存されているか。 | 　 | 　 |
| 講じた措置内容 |